意見整理表まとめ（総合花巻病院跡地）

資料 1-1

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
都市計画的視点	①活性化	●人の流れができ、上町など商店街の活性化につながる可能性がある	●周辺に歩行者が少ない印象がある	●イベントや企画を行う(例えば、古本まつり、散策マップの作成) ●おしゃれなデザインや快適な館内、花の植栽など、魅力的な図書館とする ●警備員によるパトロールや監視カメラを設置する ●道路を拡幅し街灯を設置する【補足説明 1】 ●法面に照明を設置する ●周辺の資源(例えば、マルカン・大堰川プロムナード・歴史文化)を活かして開発する【補足説明 2】 ●法面でプロジェクションマッピング等を行う【補足説明 3】	**【補足説明 1】** ・病院跡地南側の市道は、平成 28 年度から歩道及び車道を整備中（別紙「病院①」参照） （1）旧国道 4 号交差点（セブンイレブン前）から西に約 320m の区間は、幅員 2.5mの歩道の整備と、6.5mの車道を路肩を含め 9mに拡幅する工事を実施済み （2）武徳殿入口から花巻小学校入口までは、平成 25 年 5 月に城内を対象とした　地元説明会を開催し地権者の意向を確認したところ、否定的な意見があった。歩道及び車道の拡幅整備を近い将来行うのは困難と判断 （3）花小入口交差点から西約 140m区間は幅員 1.5mのまま段差のない歩道に改良済み （4）病院跡地から幸橋までの約 260m区間は、幅員 2.5mの歩道を整備中 （5）幸橋から大通り交差点(ファミマ前)までは令和 9 年度までの予定で幅員 1.5mの歩道を新たに整備予定 **【補足説明 2】** ・マルカンビルは、民間事業者の尽力で活用 ・「大堰川プロムナード整備事業」等については、平成 6 年から平成 16 年にかけ市県が総額 23.6 億円で整備 （1）市では、草刈りなど維持管理を行い利用促進に努めている （2）ライトアップ及び社会実験等で活用中 **【補足説明 3】** ・プロジェクションマッピングについて、西側法面に実施する場合、法面の整備が必要か調査が必要。また、図書館側からは見えない
			●次につながる展開がイメージできない	●花巻城跡の歴史をアピールする ●周辺施設との連携について将来的な構想をつくる	
			●使いにくい印象があり、将来的に若い世代の利用が減ることが懸念される	●若い世代に関心があるような企画の展示をする（例えば、アニメ関連等） ●魅力的な図書館とし PR する ●学校と連携し、小学生の登録を促すとともに、児童・生徒向けの利用体験を実施する ●まなび学園を宿泊施設として活用する【補足説明 4】	**【補足説明 4】** ・宿泊施設としての需要があるか調査が必要 ・宿泊施設として改装するには多額の費用がかかり、また、市には宿泊施設を運営するノウハウがない
	②文化・歴史	●宮沢賢治や高村光太郎など花巻の先人にゆかりの場所である ●花巻城跡が近く、周辺に寺社がある			
	③他施設との連携	●イベントの共催や施設の共有ができる。まなび学園での事業の帰りに図書館に寄ることができる。まなび学園の事業に関連する図書類を展示紹介することができる ●こどもセンターやファミリーサポートセンターとイベントの共催ができる。また、利用者が立ち寄ることができる ●市役所に近く、用事の際に立ち寄ることができる	●隣接するまなび学園は古い建物であるため、今後の利用に不安がある	●まなび学園を改修し今後も活用できるようにする【補足説明 5】 ●改修せずに古い校舎を活用しイベントを開催する(例えば、ナイトミュージアムや肝試し等)	**【補足説明 5】** ・まなび学園の建物は昭和 42 年（1967 年）に県立花巻南高校の旧校舎として建設 （1）平成 13 年（2001 年）にコンクリートの劣化度調査を行っているが、令和 9 年（2027 年）頃には当初の目標耐用年数である 60 年となるため、改めてコンクリートの劣化度調査を行い、どの程度利用できるか検討予定 （2）令和 2 年度（2022 年）外壁改修工事実施
	④周辺環境	●静かで落ち着いている ●高台なので北側などの見晴らしが良い ●周辺のまなび学園北側及び花巻小学校西側に樹木があり、緑が多い ●マルカンなどで食事や買い物ができる ●市役所や県の合同庁舎などが近く、他の用事にあわせて立ち寄ることができる	●夜は暗く、人通りが少ない印象がある	●街灯や照明を増設する ●暗さを利用したイベント等の開催(例えば、星空観察会、ライトアップなど) ●プロジェクションマッピング【補足説明 3】	
			●周辺に飲食店が少ない	●図書館周辺に飲食スペースを確保する(例えば、カフェやコンビニ等の併設、飲食店経営者を募る等)【補足説明 6】 ●飲食店を増やすために宿泊施設をつくる【補足説明 7】	**【補足説明 6】** ・新図書館ではカフェの設置を計画している **【補足説明 7】** ・宿泊施設の需要があるか調査が必要

意見整理表まとめ（総合花巻病院跡地）

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
都市計画的視点		●飲食店が少ないので、カフェスペースが駅前に比べて多く利用される可能性がある			・宿泊施設の整備には多額の費用がかかり、また、市には宿泊施設を運営するノウハウがない
			●花巻小学校が近いため、図書館からプールなどが見える場合は、配慮した設計が必要となる可能性がある	●花小のプライバシーに配慮しフェンス等を設置する	
			●林が周辺にあり、まなび学園に熊が出没した事例がある	●熊対策を考え実施する(例えば、情報網を強化、爆竹・ロケット花火・鈴等を活用、獣害用フェンス等)	
			●夕方以降、カラスが多く集まり糞害等が発生している	●原因を究明しカラス対策を考え実施する(例えば、赤外線やライト・音などによる対策等)【補足説明 8】	**【補足説明 8】** ・市民体育館周辺を含めてカラス対策には苦慮しているが、効果的な対策は現時点でみつからない
			●病院跡地は印象が悪いという意見がある	●賢治ゆかりの地(稗貫農学校)であることを PR する ●印象が悪いと考える人のためにお祓いをする ●病院跡地であることをコンセプトにする	
建築計画的視点	⑤アクセス	●バスを使う場合は行きやすい ●花巻小学校に近く、花巻小学校の児童は利用しやすい ●駅から徒歩で利用することで、健康につながる可能性がある	●JR 花巻駅から約 900mで徒歩 11 分であり、駅から離れている ●交通の便が悪い ●車を持っていないと利用しにくい ●花巻市西部の住民は遠く感じる	●バスを使いやすくする(例えば、路線追加、バス停設置、運転自動化、路線図の周知シャトルバス運行)【補足説明 9】 ●楽しんで図書館に行けるようにする(例えば、クイズや詰将棋、道順を示すモニュメント) ●道路の段差を解消する ●図書館に来なくても本が借りられるようにする(例えば、移動図書館車運行、書籍の電子化、地域で本を借りられるようにする等) ●レンタルサイクルを増やす	**【補足説明 9】** ・市街地循環バス星めぐり号、ふくろう号の運行については、R６年度決算見込で年間 3,830 万円を負担しており、増便については、財政的負担を検討する必要 ・自動運転は、今後の技術の進展によっては検討の余地がある ・敷地から約 100mの位置に市街地循環バスのバス停があるが、仮に図書館前にバス停を設けるには、バスが旋回できるロータリーの設置、歩行者との動線を分けるなどが必要
			●道が狭く通りにくい印象がある ●自転車の利用者は、周辺の道路及び歩道が狭く通りにくい印象がある	●周辺道路及び歩道を整備する【補足説明 1】 ●自転車レーンを設置する ●一方通行に規制する ●ファミマ前交差点を通りやすいように信号機を改良する	
			●場所がわかりづらい	●誰でも迷わず図書館に行けるようにする(例えば、道路標識や看板の設置、IT 利用等)	
	⑥安全	●平日の登下校時は、花巻小学校のスクールガードが子どもたちを見守っている	●急傾斜崩壊危険区域や土砂災害警戒区域等に隣接しているため、災害時に不安がある ●法面や堀跡の土砂災害に対して不安がある ●造成した土地であるため、地盤沈下等の不安がある	●ボーリング調査を実施し、必要な対策を講じる【補足説明 10】 ●危険区域に近づけないようフェンス等で対策する ●安全性(建物は規制のない場所に配置)を周知する	**【補足説明 10】** ・土砂災害や急傾斜地崩壊の危険区域には、原則建物の建築や、人・車が入ることはできない。建設候補地比較調査報告書に示してある図書館の建設場所及び駐車場の整備場所については、危険区域に該当しないが、ボーリング調査を建物設置場所で 3 カ所、南側の駐車場部分で 3 カ所、合わせて 6 カ所実施する予定。結果によっては、土壌改良と杭基礎工事など、建物や駐車場の設計において配慮が必要となる可能性
			●周辺は夜間が暗いため防犯に対して不安がある	●照明や街灯を増設する ●防犯活動・防犯設備等を設置する(例えば、警察へのパトロール依頼、警備員やカメラによる監視等) ●法面などに光る壁画を設置する【補足説明 11】	**【補足説明 11】** ・西側法面に光る壁画を設置する前提として法面のコンクリート化などを検討する必要がある （1）コンクリート化については多額の費用が予想される（この場合の試算については補足説明 14 を参照） （2）濁掘跡について景観を損なわないように現状維持保存すべきとの見解を示している花巻城跡調査保存検討委員会と事前相談する必要がある （3）堀西側の法面に実施した場合には図書館側からは見ることができない
			●周辺に坂道が多く、冬期間は通行に不安がある	●周辺の道路等に対策をする(例えば、融雪剤散布、ロードヒーター等)【補足説明 12】	**【補足説明 12】** ・病院跡地南側の市道のロードヒーターの設置については、旧国道４号交差点（セブンイレブン前）から武徳殿入口付近までのみ設置する場合において約 7.5 億円と試算 ・武徳殿入り口からファミマ入口までの区間は試算していない
			●花巻小学校や花巻幼稚園などが近く、子どもの交通安全に関する不安がある	●スクールガード･ボランティアによる見守りを行う	

意見整理表まとめ（総合花巻病院跡地）

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
建築計画的視点	⑦防災	●災害時などに一時的な滞在場所として活用できる			
	⑧土地	●図書館専用として、約 8,000 ㎡程度の広い敷地が確保できる ●図書館に近接して、広い芝生広場(840 ㎡)が確保できる ●既に取得している市有地を活用できる	●景観が良い北側は、急傾斜崩壊危険区域及び災害危険区域であり利用が難しい	●北側に竹を植える	
			●急傾斜崩壊危険区域や土砂災害警戒区域等の規制があり、土地に利用できない範囲がある		
			●敷地面積が約 8,000 ㎡と広く、冬期間の除雪量が多くなる可能性がある	●敷地を利用し、雪を利用したイベントを開催する ●大雪時は休館対応もしくは閉館時間等を変更する ●敷地内に融雪設備(ロードヒーター)を整備する【補足説明 13】	【補足説明 13】 ・建設候補地比較調査報告書に示された図書館前の駐車場部分（別紙「病院②」の赤枠内）にロードヒーターを整備する場合、5 億円から 6 億円と試算
	⑨駐車場	●車による図書館利用者は利用しやすい ●駅前よりも 20 台程度多く、駐車場を 1 か所に整備できるため、わかりやすく、利用しやすい ●原則図書館利用者専用の駐車場だが、利用状況によっては他施設やイベント時の駐車場として活用できる可能性がある ●原則図書館専用の駐車場のため、図書館利用者が駐車しやすい	●隣接したまなび学園でイベントがある際に駐車スペースが減る可能性がある	●イベント開催時、駐車場は区分け等の制限をして利用する ●駐車料金を徴収する ●駐車場は入口と出口一方通行とする	
	⑩費用	●比較調査時の概算事業費では、駅前の試算と比較し、市の実質負担額が約 1.2 億円少ない	●法面部分の草刈り及び芝刈りの維持管理に費用負担が生じる	●草刈りや芝刈り不要の伸びにくい芝とする ●人工芝とする ●法面部分は、芝ではなくコンクリートとする(コンクリートに絵を書くことも可能)【補足説明 14】	【補足説明 14】 ・花巻城跡調査保存検討委員会では、「濁堀」跡の保存に関して景観を損なわないように現状を維持保存すべきとしており、根が張る植栽は難しいが景観保全や法面の安定のため、緑地化を検討した ・法面のコンクリート化は、現在の建築基準法に合致する擁壁整備に多額の費用がかかる（測量の上、設計を行わないと具体的検討が難しいが現時点における試算として約 5 億円程度かかると見込まれる）
			●造成した土地であることから、ボーリング調査を実施した後に追加費用が生じる可能性がある	●ボーリングの結果により設計の変更が生じた場合は、安全のため必要な対策であり、説明により理解を求める【補足説明 10】	